

やりたいを実現できる 活動の起点に



▲daisy_saijoの皆さん

犬猫の殺処分実態^(※1)に心を痛めていた2人が発起人となり、SAIJO BASEのオープニングイベントをきっかけに、発足した「NPO動物愛護団体daisy_saijo」^{ディジー}。西条市で認知が低い保護猫^(※2)を知ってもらうため、適正飼養と動物愛護法、この2本柱で啓蒙活動をしています。

活動詳細▼



※1…年間14,457件（令和3年度環境省統計資料より）

※2…飼い主のいない猫。当団体では主に動物愛護センターで保護されている猫を引き取り、里親を探す活動などを実施

この場所との出会い

「私たちが取り組んでいる問題は、今すぐに解決できる問題じゃありません。子どもたちをターゲットに活動を知ってもらい、次世代へ命の大切さを伝えたい」。それを実現する最初の一步が「保護猫マルシェ」でした。保護猫の存在を知ってもらおうと、昨年10月に第1回目を開催。「昨年の夏、施設の存在を知りました。正直なところ、少しずつ知ってもらえればと活動を始めたのですが、館長をはじめスタッフがとても良心的に支援してくれて」。ただ、マルシェの実施場所には困ったと話します。「皆さんが知っている公共施設でやりたいと思っていました。ただ動物のことになる許可がとりづらい。そんなとき、スタッフが「広場だったら動物を連れてきてもいいよ」と言ってくれました。たっさんの人に来てもらうためにいろんな仕組みづくりをして、開催したマルシェは大盛況。「来場者数も想像以上で、思っていたよりも皆さんが動物愛護への関心が高かったことに驚きました」。まずは「知ってもらう」。このマルシェの開催が団体の目標に大きく近づく一歩となりました。

活動の基本（ベース）に

こうして活動していくうちに、どんどんつながりも生まれていきます。「個人ボランティアをはじめ動物愛護に興味関心のある高校生ともつながりました。『何かしたい』が連鎖していった活動の幅が広がっています」。今年2月には第2回目のマルシェを開催。「ここが活動のベースとなり、イベントのノウハウが身に付き、パターン化できた。初め計画していた2、3年分の活動が、この1年で実現できて、まさかこんなことになる」と施設や、つながりへの感謝を語ります。

「住みやすいまちのために、何ができるだろう。ここは、そんな思いを実現できる、いろんな可能性を秘めた来やすい・使いやすい公共施設。私たちの目標は、愛媛県内で殺処分される犬や猫を『0』にすること。9月には3回目のマルシェを開催予定です（詳細は7ページに掲載）。これからこの場所を拠点にできることをできる範囲でがんばりたいです」。



▲第1回目のマルシェ

SAIJO BASEとは…

「ひとが集い、夢が生まれ、未来へと繋がる場」をコンセプトに、昨年7月にこどもの国からリニューアルオープンしました。

施設内では産業情報支援センターや、市民活動支援センターなどの支援機関が配置されているほか、2階の交流チャレンジスペースでは勉強や打合せ、イベント会場として利用でき、子どもから高齢者まで、「何かをしたい」人たちが集い、交流できます。スタッフも、それぞれの強みを生かして、皆さんの目的に合った活動を応援します。

詳細は▼



私たちが夢やチャレンジをサポートします！



SAIJO BASEのスタッフの皆さん

特集

ここから

始まる挑戦

私の拠点
SAIJO BASE



チャレンジを応援するまち、西条市。資格を取ったり、イベントを企画・実施したりなど、何かにチャレンジする方が増えています。

そんな中、昨年オープンした「ひと・夢・未来創造拠点複合施設（愛称：SAIJO BASE）」^{サイジョウ ベース}は、人と人とが交流できる、今までの西条にはなかった場所として生まれ変わりました。愛称には基本（ベース）という意味のほか、基地という意味も込められています。

「やってみたい！」。SAIJO BASEはそんな思いを持ったあなたの背中を押してくれる場所（基地）かもしれません。

マルシェで生まれる 「つながり」と「挑戦」

来て、知って、使って、そしてつながって「夢」を実現する。
そんな場所にするために、まず始めたのがSAIJO BASEの日（以下、マルシェ）。
毎月第4日曜日に開催するマルシェには、多くの人が集います。

※写真は7月23日開催分
（一部例外あり）

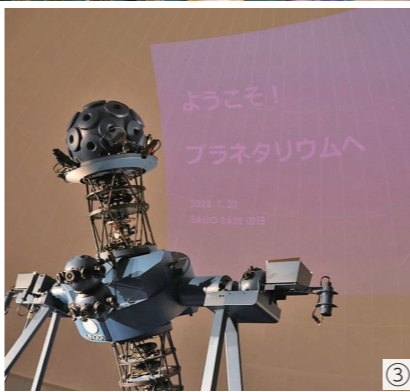
まずは施設を知ることから

「マルシェに来て、施設を知ってもらおう。そして、ここから羽ばたく人が増えたら」。そんな思いで始めたマルシェは7月で1周年を迎えました。オープン当時、マルシェを立ち上げたのは市民団体の「イマココ子育て支援」。1周年を迎えてからは、SAIJO BASEが主催者です。スタッフは、「マルシェを創り上げ、支えてくれたイマココ子育て支援さんには感謝です。第1回目の来場者数は175人。最近では最大で約900人の方が来場。出店者数も約4倍となりました」。マルシェの内容はキッチンカー出店や雑貨などの販売、プラネタリウム投影、市民活動PRなど。規模が大きくなるともちろん、主催者側も忙しくなります。「出店者など、皆さんの思いや、やりたいことに公平に応えるのが難しい。スタッフで試行錯誤しながら、来場者も出店者も満足できる場所を提供しています」。人手不足を解決するために、

高校生にボランティアを依頼することも。次世代を担う学生にとっても挑戦できる場所となっています。

マルシェをきっかけに参加者が施設に興味を持ち、個人スペースを使ったり、打合せで会議室を利用したりと、利用者も増えていきます。「最近だと、『お店を始めたいけど、どうしたらいいかわからない』など、新しい出店者も増えていきます。マルシェをきっかけに挑戦する人たちの起点になりたい」。人が集うだけで終わらない。その後のつながりや挑戦を育もうとする主催者の熱い思いが込められているマルシェは、これからさらなる進化を続けます。

「うおーたービーズ
アクアリウム」を
作りました！



- ①「道前太鼓 LA・BANTA」の皆さんによる迫力満点のパフォーマンス
- ②会場にはキッチンカーがずらり。食欲をそそるおいしいものが勢ぞろい
- ③毎月開催されるプラネタリウム投影。星空を眺めながら癒やしの空間へ
- ④「楽しかった！ 8月に満月を見たい」と、プラネタリウムを鑑賞した子どもたち。マルシェは子どもも楽しめる催しが盛りだくさん
- ⑤スタッフと協力して、マルシェを支える高校生ボランティアの皆さん

マルシェに参加して

#出店者



高橋置センター
高橋知宏さん

マルシェに初参加！

日本古来から使われている「畳」を多くの方に知ってもらえる機会を作りたいと考え初参加しました。出店したことで、さまざまな課題も見つかりましたが、お客さまに畳を直接見て触れてもらい興味を持ってもらえたことや、他の出店者の方々との出会いや交流など今までにない経験となりました。

#ボランティア



西条高校1年
山地春南さん

新しいチャレンジ！

プラネタリウム投影のボランティアとして、初参加しました。昔から天文学に興味があり「星座の解説をさせてほしい」と申し出たところ、快く承諾してくれて7月のマルシェで初めてガイドをさせていただきました。本番はとても緊張しましたが、さそり座に関する解説の原稿は全て自分で考え、今回の経験で新たな一歩を踏み出した気がします。

#施設



GTM COFFEE STAND
池田美和さん

つながりを大切に

普段は施設の2階でドネーション型のカフェ※をしていますが、飲み物だけでなく、食事などの提供もできればと考えていました。そんなとき、マルシェの出店者とお店の料理などを販売しています。コラボしたことで少しずつ、カフェのお客さんも多くなりました。このようなつながりに本当に感謝です。
※売り上げの一部を寄付

さあ、SAIJO BASEを 訪れよう！ 活用しよう！

イベントや打合せ、環境を変えて勉強など 個人でも団体でも気軽に利用できます。

全館フリーWi-Fi完備！

全館フリーWi-Fiを完備しているため、ネットを使った作業も快適に行えます。



個人学習でも使える！

交流チャレンジスペースは無料と有料(1人1時間100円)を含めて全29席。勉強や作業、打合せなどに使えます。



小さな子どもとでも利用！

ファミリーサポート制度を使って託児をしながら仕事や作業もできます。(制度の利用には事前申請が必要)



各エリア飲食可能！

勉強しながら飲食したり、打合せ後にお茶をしたりと、各エリア飲食可能。カフェも併設(月・水・金曜日は弁当、土・日曜日は軽食販売)しています。



多様な部屋が充実！

イベントルームや会議室のほか、多目的室(天体観測室)では演劇や、映画鑑賞会などでも利用できます。



展示物も盛りだくさん！

「だんじり」「みこし」を展示しているほか、市民団体などが利用できる作品の展示スペースもあります。



イベント情報

日…日時 内…内容 問…問合せ

●SAIJO BASEの日

日 8月27日(日) 10時～15時
※9月は開催なし。次回は10月22日(日)に開催
内 普段のマルシェのほか、救急フェアも同時開催。
新型の救急車も登場！
問 SAIJO BASE

●2023秋の不動産フェア

日 9月23日(土) 10時～15時
内 不動産無料相談や土地・建物などの物件紹介のほか、ハウスメーカーの展示、キッチンカーも集合。
問 西条宅建協会
Tel.0897-55-0988

●第3回保護猫マルシェ

日 9月18日(月) 10時～16時
内 猫トラブル&飼い方なんでも相談コーナーのほか、グッズ販売や、人気のキッチンカーが大集合！
問 daisy_saijo
詳細は▶

その他…

・ベトナム月まつり
日 9月30日(土) 13時～
※詳細は19ページ記載
・ハロウィンヴィレッジ
日 10月28日(土) 13時～15時
問 西条市国際交流協会
Tel.0897-66-9990

SAIJO BASE

場所：西条市明屋敷131番地2
問合せ：Tel.0897-47-6063
イベント情報など、Instagramなどで配信中！

Instagram LINE



あなたの思いを形にする場所
子どもから高齢者まで、勉強や会議、サークル活動など、チャレンジを応援する施設としてこの特徴は、一言でいうと「多様性」。それに加えて、スタッフをはじめいろいろな方と出会い、交流できる。少子高齢化や人口減少が進む今、ここは西条の未来を支える施設だと感じました。私も実際に利用してみましたが、フリースペースはカフェ感覚で、コーヒを片手に、落ち着いて作業できます。取材された方も言っていたように、本当に「来やすい・使いやすい」施設です。
「LOVE SAIJOまちへの愛が未来をつくる」。これは西条市が目指す姿を現したキャッチフレーズ。「まちをよくするために何かしたい」そんな思いや、夢を実現できる場所の一つがSAIJO BASEだと思っています。

私たち、ここで活動しています

さまざまな方が夢や目標の実現へ、思いを持って、SAIJO BASEを拠点に挑戦しています。

ママたちに喜んでもらえる居場所づくり



自分自身、子育てする中で大変だった「夜泣き」。これまで抱っこでしか寝なかった息子が、あるイベントで「ベビーマッサージ」を受けたとき、抱っこ以外で寝れたんです。



▲ママの悩みに寄り添います

それにもすごく感動して。特に西条ではベビーマッサージというものの認知度が低かったので、いろんな人に伝え、ママた

ちの悩みに寄り添いたいと思い、活動を始めました。イベントの場所探しをしていると、ほかの講座でこちらの「イベントルーム」を知り、子どもが寝転べるいい場所だと思い、利用し始めました。イベントは月1回程度。ママたちからは「知っている場所で集まりやすい」という声もいただきます。何より、イベントを通じてママ同士でつながりが生まれることはうれしいですね。施設のスタッフも親切で応援する気持ちで対応してくれるので、とてもありがたいです。



代表 村上愛美さん

ここを活動拠点に自分らしく生きるサポートを



健康コミュニティ カフェ代表 松田佳美さん

40代や50代の更年期といわれる人たちが、もう少し元気で自分らしくいられるように団体を立ち上げました。子育てがひと段落し、環境が大きく変わるこの年代は体も心も大きな変化を受けます。知人が施設のことを教えてくれたけど、最初はこどもの国の跡地で正直、何が便利なのか分かりませんでした。でも実際利用してみると、事業相談にも乗ってくれて、活動拠点のイメージが膨らみました。無料スペースで事務仕事をしたり、仲間たちと会議室で打合せをしたり、イベントではフ

リースペースを使ったり。全部使っていますね。何よりWi-Fiが使えるのでネット環境も安心です。利用者とのつながりも増え最近では、コラボイベントもできました。これからもここで活動を続け、人口が減少する中、生産年齢人口の中でまだまだ活躍できる人たちの力になりたいですね。



▲楽しみながら活動します

将来を担う子どもたちのベースに



定例的な会議のほか、主に子ども対象のイベントでよく利用しています。青年会議所の活動目的の一つ「子どもたちの育成」のもと、これまで、コンピュータゲームで競い合い、



▲宿題大作戦の参加者

交流する「eスポーツ大会」や、8月6日には子どもたちの宿題をサポートする「夏休み宿題大作戦」などを開催しました。

イベント企画の際には、皆さんが「参加しやすい場所」という点を重視しています。参加者だと食事をとりやすかったり、お店などの事業者は、人が集まる所でモノを売ることができたりと、SAIJO BASEは、お互いがメリットのある使いやすい施設だと思います。大人だけでなく、子どもたちも楽しめる施設になるとうれしいですね。青年会議所としては、これからも、子どもたちが夢を見れるような、そして西条が活性化されるようなイベントなどを開催していきたいです。



西条青年会議所 理事長 河村竜介さん